資料1

一般社団法人 日本カーシェアリング協会「災害時返却カーリース自治体プラン」とは？

**平常時は自治体が安価な公用車として使い、災害時にはその車を返却して、
被災した自治体の支援車両として活用する仕組みです。**

1 自治体がリース

協会から車両を借りる。
平常時の公用車として活用します。

2 大規模災害が発生

被災地で車両不足が発生。
協会が支援ニーズを確認します。

3 自治体が車両を返却

協会から返却要請があり、
原則10日以内に返却します。

4 被災地へ無償貸与

返却された車両を、協会が被災
自治体へ無償で貸し出します。

ポイント

**自治体が平常時から車両を保有・活用しながら、災害時には全国の車両を被災地へ融通する仕組みです。
車両を「備蓄」するのではなく、「平常利用＋災害時支援」で循環させます。**

【災害時返却カーリース自治体プラン概要】作成：花井

資料2

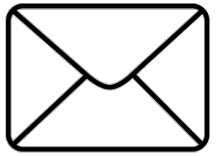
一般社団法人 日本カーシェアリング協会「災害時返却カーリース自治体プラン」とは？

平常時の利用条件

- 月額11,000円(税込)から
  (軽自動車の場合)
- １２か月更新
  (災害がなければ更新可能)
- 自治体の公用車として利用

災害時の対応の流れ

被災地の
車両不足を調査



返却要請
(原則10日以内)

返却された車両を
被災自治体へ貸出

災害対応に活用
(住民対応・避難所移動・災害状況確認など)

災害時の対応の流れ

災害		提供元(車両の返却元)	活用元・用途
2026年	熊本地震	佐賀県みやき町など	熊本県宇城市の公用車として、住民対応、避難所への移動、被害状況確認など
2026年	千葉豪雨	全国のリース利用者	自治体の支援活動に活用
2026年	石川・富山豪雨	全国のリース車両	被災者支援、災害対応など
2026年	福井豪雨	全国のリース車両	被災地支援

浜松市にとってのメリット

- **南海トラフ地震など大規模災害時の公用車不足に対応できる。**
- **平時は通常の公用車として適用でき、財政負担を抑えられる。**
- **全国の自治体との連携により、陣族な支援が可能になる。**
- **防災・減債の取組みとして、「モビリティ・レジリエンス」の推進につながる**

【災害時返却カーリース自治体プラン概要】作成：花井